

1

リスクアセスメントの手法で危険の芽を摘み取ろう

職場では多種多様な作業が行われ、また、新たな作業方法の採用、変更及び作業の機械化などが進んでおり、それらの実態や特性にあった安全衛生対策を行っていく必要性が高まっています。職場にある様々な危険の芽(リスク)を見つけ出し、災害に至る前に、先手を打って対策を施し、リスクの除去・低減措置を行い、更なる労働災害の減少を図るための手法の一つに「リスクアセスメント」があります。

印刷・製本作業には、新聞、雑誌、パンフレットの作成や後行程に製本作業等様々な工程があります。この印刷・製本業における休業4日以上死傷者の発生件数を見ると800件を超えています。そのうち災害の種類である「事故の型別」で見ると「挟まれ・巻き込まれ」だけで50%を超え、以下「転倒」「動作の反動・無理な動作」と続きます。このため、工場内での機械関係の作業についてまずは危ないと思われる作業に絞り込み、できることからリスクアセスメントを始めよう。

本マニュアルは、印刷・製本業に限らず、様々な業種で行われる印刷・製本作業に伴う災害を防止するためのリスクアセスメントの実施のすすめ方をまとめたものです。このマニュアルを活用して災害防止に努めましょう。

印刷・製本業における事故の型別労働災害発状況（休業4日以上死傷災害）

事故型年	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	崩壊 倒壊	激突 され	はさまれ 巻き込まれ	切れ こすれ	高温低温の 物との接触	有害物等 との接触	動作の反動 無理な動作	交通 事故	その他 分類不能	合計
平成14年	85	71	24	32	10	16	520	64	7	5	74	20	6	934
平成15年	61	87	36	20	9	22	456	60	3	1	66	16	7	844
平成16年	58	99	44	36	9	17	466	60	5	4	64	15	6	883
平成17年	56	79	33	36	9	17	449	46	2	2	59	15	7	810
平成18年	53	106	26	27	11	23	410	59	3	1	64	21	6	810
平成18年 割合(%)	6.5	13.1	3.2	3.3	1.4	2.8	50.6	7.3	0.4	0.1	7.9	2.6	0.8	100.0

資料出所：労働者死傷病報告

印刷・製本業における事故の型別労働災害発生状況（平成18年）

